

平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書 (大阪市港区)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

事業周知用チラシを用いて、自治会や町会、民生委員協議会等の各団体に対する周知と啓発。また、百歳体操、いきいきサロン、ふれあい喫茶、ふれあい食事会等への参加や、認知症小地域相談会、徘徊模擬訓練、一般向け・専門職向け講演会などを関係機関と企画、開催することによって、認知症への理解を深めるための普及・啓発やオレンジチームの周知を行っている。

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

在宅医療・介護連携推進会議やケアマネポートの研修会等に参加し、地域の医療、介護の関係者と顔の見える関係づくりができるよう心掛けている。

III 若年性認知症の人やその家族への支援

若年性認知症の方の相談は少なく、平成 30 年度は 2 件。

現役世代となるので、経済的な問題を含むため、その都度、役所等関係機関に問合せしながら支援を行っているが、介護保険制度だけでなく失業保険や障害年金など、幅広い制度や支援組織の知識等も必要。

IV 認知症の人の介護者への支援

家族介護の会や家族介護支援事業で行っている家族介護支援教室・認知症連絡会等が開催する認知症講演会や小地域相談会への参加を呼び掛けている。

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

見守りコーディネーター会議、地域福祉計画策定会議、ふれあい福祉の広場等、地域づくりのための会議等に参加。

- ・平成 31 年 3 月末現在港区内に認知症カフェは 2 カ所運営。

地域の憩いの家等でふれあい食事会・ふれあい喫茶が行われており、推進員が「集う場」等に参加し認知症の方・家族・関係者の相談、支援している。

等への参加。

VI 会議や研修等の実施及び参画

- 港区認知症施策推進組織代表者級会議 — 港区医師会、歯科医師会、薬剤師会、港区地域・港区南部地域包括支援センター、港南・市岡東・築港ランチ、保健福祉課、居宅介護支援事業者等
※港区高齢福祉担当と港区認知症施策推進担当（港区認知症地域支援推進員が兼務）が事務局。
- 認知症連絡会 — 港区医師会、歯科医師会、薬剤師会、港区地域・南部地域包括支援センター、港南・市岡東・築港ランチ、保健福祉課等
※港区認知症施策推進担当が事務局。

医療・介護・福祉の連携状態の把握に努めると共に居宅支援事業者連絡会や医師会、薬剤師会、歯科医師会、サービス提供事業者連絡会等に多職種連携のための合同研修や意見交換を企画提案するなど、関係機関相互の業務・役割を理解し、各関係機関の顔の見える関係作り、連携体制の強化を図る。

- 市や府が主催する会議や研修への積極的な参加 —
大阪市、市社協主催の研修会や講演会の他、地域支援推進員としてスキルアップできるように大阪市以外の外部研修にも積極的に参加。研修参加後は職員間での伝達研修や資料回覧等を行い、スタッフ全員が研修内容を共有することにより資質の向上を図る。